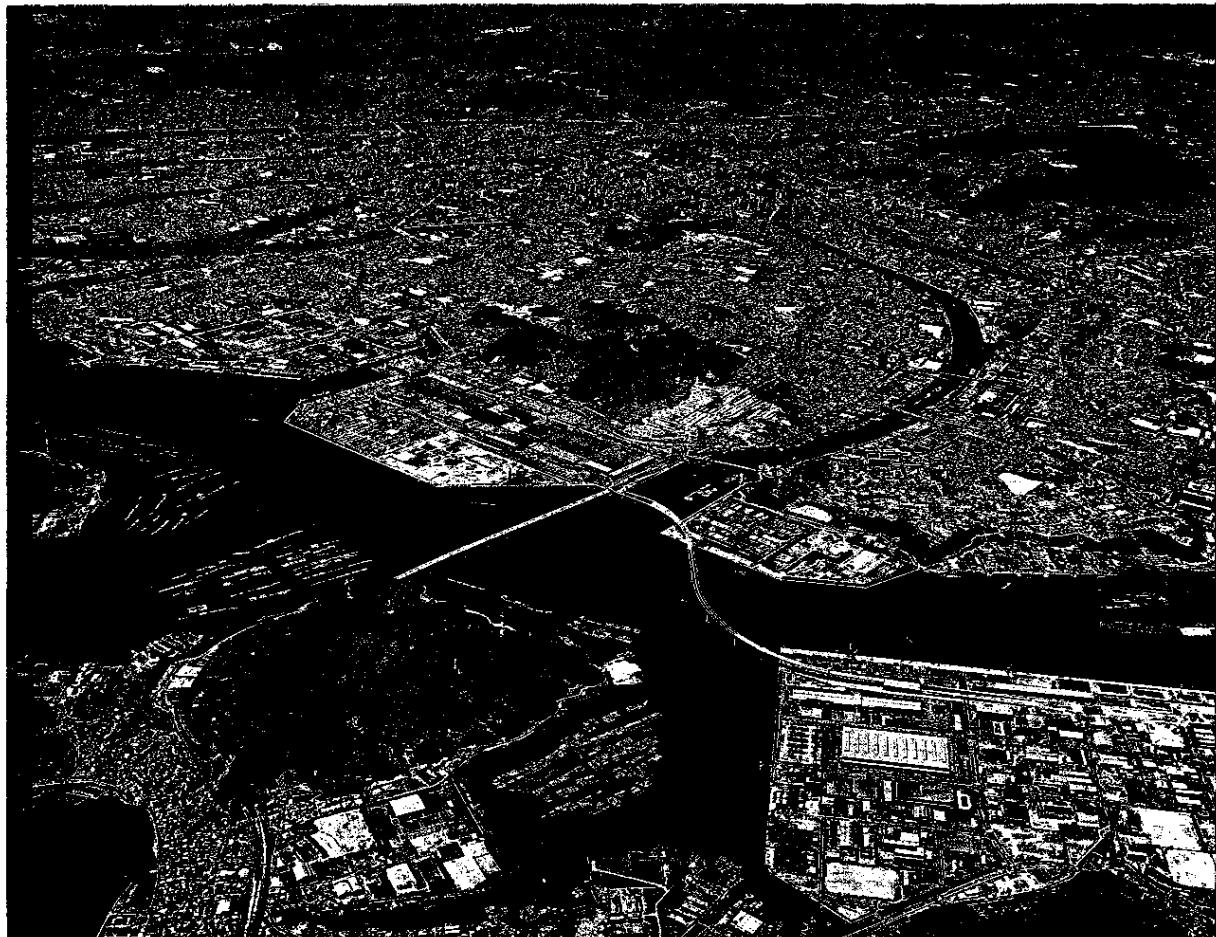


産業政策と地域経済



広島大学経済学部附属
地域経済研究センター編

地域経済研究推進協議会

目 次

まえがき	櫻本 功 (広島大学経済学部附属地域経済研究センター長)	1
研究集会プログラム		2
開会式		
開会の辞	櫻本 功 (広島大学経済学部附属地域経済研究センター長)	4
挨拶	中島 正雄 (地域経済研究推進協議会会長)	6
基調講演		
「日本経済の変貌と産業政策の課題」		
並木 信義 (名古屋市立大学教授・元通商産業省産業構造課長)		
元日本経済研究センター理事・研究主幹)		7
パネル討論		19
「産業政策と地域開発」		
司会	櫻本 功 (広島大学経済学部附属地域経済研究センター長)	
発言者	吉澤 均 (中国通商産業局長)	
山本 健一 (マツダ会長)		
新野幸次郎 (神戸大学長)		
安部 一成 (西南学院大学教授)		
助言者	並木 信義 (名古屋市立大学教授)	
研究報告		
「高速交通体系整備と岡山の企業環境に関する調査」		
北村彌三郎 (岡山経済研究所専務理事)		56
「中国横断自動車道 (岡山~米子線) 開通を生かした周辺地域活性化方策」		
長石 健 (山陰経済経営研究所研究員)		70
「アグロコンプレックスコミュニティ (先進農村複合体) の形成		
ー鳥取県大栄町をモデルとしてー」		
吉田 幹男 (地域デザイン研究所長)		87
「音楽祭にみる大規模イベントの成立条件と地域経済効果		
ーイタリア「ペローナ市」における世界合唱祭に参加してー」		
山本 定男 (中国地方総合研究センター常務理事)		110
「広島県における製造業の課題と対応 ー加工組立型産業を中心にー」		
角南 昌彦 (ひろぎん経済研究所調査研究部長)		127
「若者の地元商業地評価調査」		
宗近 孝憲 (山口経済研究所研究員)		136
地域経済研究推進協議会活動について		153
1. 設立経過報告と現況		
2. 協議会規約		
3. 協議会役員名簿		
4. 平成3年度事業計画		
5. 平成2年度事業報告		
6. 入会案内		
あとがき	中島 正雄 (地域経済研究推進協議会会長 中国経済連合会専務理事)	162

まえがき

本誌は、平成2年10月22日・23日の二日間、広島県民文化センターで開催しました広島大学地域経済研究センター第2回研究集会（共通テーマ：産業政策と地域経済）の報告書です。

地域経済研究センターは、中国・四国地方を中心とした地域経済に関する実証的な調査・研究を行い、学外の調査・研究機関と連携し、地域経済の研究活動を推進することを目的として、平成元年5月29日に新設されました。また、地域経済研究推進協議会は、地域経済研究センターの活動を支援して、地域経済に関する研究活動を推進し、地域の産官学の交流を図ることを目的に平成2年4月に設立されました。

上記の研究集会は、地域経済研究センターと地域経済研究推進協議会との共催で、地域経済研究機関相互の交流を密にして、活発な情報交換を行い、地域経済を研究する諸機関のネットワーク作りを目指すことを目的として開催されました。

地域の皆様方及び大学関係者のご協力により、研究集会には初日約350名、2日目約100名に上る多数の方々のご参加を賜り、熱心に御討議していただき、極めて有意義な成果をあげることができました。研究集会での基調講演、パネル討論および研究報告のいずれも大変好評で、ぜひ活字にして残すべきだというご意見が多く、本誌を作成することにいたしました。

本誌を作成するにあたり、基調講演をお願いしました並木信義名古屋市立大学教授、パネル討論会のパネリスト、および研究報告者の方々、その他関係各位のご協力に深く感謝申し上げます。

また、研究集会の開催から本報告書の発刊まで大変時間がかかりましたことを、関係者の方々に深くおわび申し上げます。

平成3年10月

広島大学経済学部附属
地域経済研究センター長 樽 本 功

地域経済研究センター
第2回研究集会プログラム
共通テーマ：産業政策と地域経済

主催：広島大学経済学部附属地域経済研究センター
地域経済研究推進協議会
場所：広島県民文化センター（入場無料）

■10月22日(月) 会場 1Fホール

12:30~13:00 受付

13:00~13:20 開会式

挨拶 楠本 功（広島大学経済学部附属地域経済研究センター長）
中島 正雄（地域経済研究推進協議会会长）

13:30~14:30 基調講演

「日本経済の変貌と産業政策の課題」

並木 信義（名古屋市立大学教授）

元通商産業省産業構造課長

元日本経済研究センター理事・研究主幹

14:45~17:00 パネル討論

「産業政策と地域開発」

司会 楠本 功（広島大学経済学部附属地域経済研究センター長）

発言者 吉澤 均（中国通商産業局長）

山本 健一（マツダ会長）

新野 幸次郎（神戸大学長）

安部 一成（西南学院大学教授）

助言者 並木 信義（名古屋市立大学教授）

17:30~19:00 懇親会

会場 鯉城会館 5F サファイアの間

（広島県民文化センター内）

■10月23日(火) 会場 5F サファイアの間

9:00~12:00 研究報告

座長 柏谷 増男 (愛媛大学工学部教授)

「高速交通体系整備と岡山の企業環境に関する調査」

報告者 北村 弘三郎 (岡山経済研究所専務理事)

討論者 岡本 輝代志 (岡山商科大学商学部教授)

「中国横断自動車道(岡山~米子線)開通を生かした周辺地域活性化方策」

報告者 長石 健 (山陰経済経営研究所研究員)

討論者 戸田 常一 (広島大学経済学部附属地域経済研究センター助教授)

「21世紀の村づくりを展望するアグロコンプレックスコミュニティの研究

ー先進農業の町、鳥取県大栄町をモデルとする研究ー」

報告者 吉田 幹男 (地域デザイン研究所長)

討論者 岩谷 三四郎 (広島県立大学生物資源学部教授)

13:30~16:30 研究報告

座長 香川 敏幸 (広島大学経済学部教授)

「音楽祭にみる大規模イベントの成立条件と地域経済効果

ーイタリア「ベローナ市」における世界合唱祭に参加してー」

報告者 山本 定男 (中国地方総合研究センター常務理事)

討論者 小見志郎 (野村総合研究所事業開発研究部次長)

「広島県における製造業の課題と対応」

報告者 角南 昌彦 (ひろぎん経済研究所調査研究部長)

討論者 崎川 耕治 (三菱総合研究所経営システム室長)

「若者の地元商業地評価調査」

報告者 宗近 孝憲 (山口経済研究所研究員)

討論者 米谷 雅之 (山口大学経済学部教授)

16:30~17:00 閉会式

座長講評 柏谷 増男 (愛媛大学工学部教授)

香川 敏幸 (広島大学経済学部教授)

開会式

開　会　の　辭

広島大学経済学部附属
地域経済研究センター長 櫻本 功

本日は、広島大学経済学部附属地域経済研究センターおよび地域経済研究推進協議会の1990年度研究集会を開催致しましたところ、かくも多数の方々にお集まり頂き、誠にありがとうございます。本研究集会を開催するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

私は、この地域経済研究センターのセンター長をつとめております櫻本でございます。地域経済研究センターは、御案内のように、広島大学経済学部の附属研究施設として、昨年の5月29日に創設されました。こうした地域経済を研究致しますセンターが、国の省令で認められましたのは、わが国で始めてのことです。



通常、こういったセンターは、中央の大学にまず出来まして、次第に地方の大学にできるものだということでございますが、それが始めて地方の大学に出来ましたことは、大変意義のあることであると思います。それも、文部省などの国の機関が、「地域は地域で考える」という私どものキャッチフレーズに賛同して頂き、暖かくお認め頂いたからであろうと思います。

また地域のためにも極めて意義があるとして、本センターの創設に向けて、地元の関係者の方々からも大変大きなご支援を頂きましたし、創設されましてからも、大変なご協力を頂いております。

申し上げるまでもなくわが国は激動の時代に入っております。国全体もそうでございますが、当地方を考えましても中国、四国高速交通網が整備されつつあり、その他諸々のプロジェクトが進行しております。そういう時期に地方をいかにすべきかと考える機関が必要であるように思います。そういう意味で、私どもの地域経済研究センターは、中央のご助力を頂きながらも、地方にあって地方の問題を考え、地方において解決し、地方に貢献しようと、活動を始めました。

もとより、私どものセンターは微力でございます。能力にも限りがあります。たとえ志は高くても、本センターだけの活動では高が知れております。諸機関との連携が必要であります。本センターは、他の大学はもちろんのこと、中央省庁、県市町村、あるいは地元の経済界や民間のシンクタンクなどと緊密なネットワークを組み、連携し、切磋琢磨しながら、「地域は地域で考える」を旗印に、地域経済の諸問題に取り組み、地域の

発展に貢献したいと考えております。

本センターは、ようやく2年目を迎えたところでございますが、これまでの本センターの活動を若干ご紹介申し上げます。今年の1月29日と30日の2日間、昨年度の事業として第1回の研究集会を開催致しました。本日および明日の研究集会は、これに次ぐ第2回目の研究集会でございます。

本年度におきましては、すでに6月15日に経済的中枢性をテーマに、地域の方々を対象に地域経済に関する「研究会」を開催し、ついで7月16日から3日間、広島大学の内外の8人の先生方にお願いして、これもまた地域の方々を対象に地域経済の「研修会」を開催致しました。

また、出版物もございまして、一つは私たちの研究センターの紀要である『地域経済研究』をこの3月に発行し、いま一つは、先ほど申し上げました1月に開催した研究集会の報告書を『21世紀の地域開発』と題してこの7月に発刊致しました。

本センターは、文部省からかなりの予算を頂いておりますが、予算の使途が限定されており、こうした事業を十分に展開することができません。そこで、広島県・広島市、そして地元の経済団体や企業などにお願い致しまして、このあとご挨拶頂きます中国地方経済連合会専務理事の中島さんを会長とする『地域経済研究推進協議会』をこの4月におつくり頂き、本センターの活動をバックアップして頂くことになりました。

今回の研究集会も、われわれの研究センターとこの協議会との共催でございます。協議会のご支援に厚くお礼申し上げます。

本日は、並木信義先生をお迎えして基調講演をして頂き、これを受けて、吉沢中国通商産業局長、山本マツダ会長、新野神戸大学長、安部西南学院大学教授によるパネル討論会を開催する予定でございます。並木先生を始め、大変お忙しい方々ばかりでございますが、快く本研究集会にご参加下さいました。厚く御礼申し上げます。

また明日は、中国地方の各県にございます6つの民間のシンクタンクの方々にそれぞれ1時間ずつご報告をいただきまして、ご討論を賜ることになっております。

二日間にわたる本研究集会におきまして、中央および当地域の方々の貴重なご意見を頂けるものと存じます。本研究集会がいささかなりとも地域経済の発展に貢献できればと考えますので、ぜひとも皆様方の積極的なご批判とご指導を賜りたいと存じます。

会場の皆様、よろしくご協力をお願い致します。どうも有難うございました。

挨 拶

地域経済研究推進協議会会長 中島 正雄

地域経済研究推進協議会の会長をしております中島です。先ほど、櫻本センター長からお話をございましたように、広島大学経済学部に地域経済研究センターが新設されましたのは、昨年の5月でございます。この研究センターの活動を支援しなければならないということで、今年の4月に地元の行政とかあるいは経済団体や企業など19社の賛同のもとに地域経済研究推進協議会というものを設立いたしたわけでございます。現在会員は32社になっておりまして、広島大学の地域経済研究センターの協力のもとに研究会とか研修会、あるいは研究集会というものを実施してまいりまして、地域経済に関する研究活動の推進に努力をしてまいったわけでございます。



今回の研究集会は広島大学の地域経済研究センターとこの地域経済研究推進協議会との共催で行ったわけでございますが、基調講演をお願いしました名古屋市立大学の並木先生をはじめといたしまして、パネル討論にご参加いただきます先生方、また明日の研究報告に座長、報告者、討論者としてご参加いただく方々には、ご多用中にもかかわらず、遠路ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

今回の研究集会の共通テーマとしては、ご案内申し上げておりますように、「産業政策と地域経済」ということでございますが、日本経済が大きく変貌いたします中にあって、地域経済をとりまく社会経済環境も大きく変化しているわけでございます。テクノポリスとか頭脳立地とかあるいはリゾートとかいった新たな産業立地政策が進められておりまして、当地域でもこれらを活用して、積極的な地域づくりをしなければならないと考えておるわけでございます。この研究集会はこういった意味でもたいへん時宜を得たものであると存じております。

皆様のご熱心なご討議によりまして、この研究集会が一つの成果をあげられますように期待しているわけでございます。なにとぞよろしくお願ひいたします。たいへん簡単ではございますが、以上をもちまして挨拶にかえさせていただきます。